東山青少年活動センター

改装オープン 好評

きょうから 演劇など記念催し

創造表現活動などに取り組む「東山青少年活動センター」がこのほど、ダンススタジオやステージ、工作室などを備えてリニューアルオープンし、利用者に好評だ。十六日からは演劇やダンス、陶芸ワークショップなどのオープニングイベントが催される。

同センターはこれまで「東山青年の家」として活動していたが、今月八日、東山区総合庁舎の移転オープンとともに、同庁舎内に「東山青少年活動センター」として新しく生まれ変わった。主にダンスや演劇、陶芸などのグループが活動している。

旧施設のダンスと演劇の練習場は、簡単な照明器具しかなかったが、新施設には、本格的な音響装置や照明装置を備えた創造活動室を設置。さっそく演劇グループなどが練習に利用しており「本格的な設備で、お客さんによりインパクトを与えられそうでうれしい」と好評だ。

また、アマチュア陶芸家や陶芸サークルを積極的に支援していこうと、電動ろくろや土練機、窯などを備えた創造工作室も設置。このほか、大きな鏡を備えたレッスンスタジオ、音楽スタジオなどもある。

オープニングイベントは十六日から三カ月間。初日は劇団「ニットキャップシアター」の公演があるほか、京都に拠点を置く六ダンスグループの「東山ダンスミニシアター」やケナフ紙すき教室、陶芸ワークショップなどがある。

問い合わせは同センター☎（541）0619へ。

新しくなった「東山青少年活動センター」で練習する劇団員たち（東山区総合庁舎）